

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

(仮)比治山町ビル

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳			
<b>■ 1. 「地球温暖化対策」の推進</b>						
<b>1.1 建物の熱負荷抑制</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 省エネ対策等級3を確保、各戸ペアガラスの採用	1.0	0.43	Q1	室内環境	2	温熱環境
	3.0	0.08			2.1	室温制御
	3.0	0.49	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制
小計	2.1	0.36				
<b>1.2 自然エネルギーの利用</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 開口部からの有効な採光、通風を確保	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
					2.1	自然エネルギーの直接利用
					2.2	自然エネルギーの変換利用
小計	3.0	0.09				
<b>1.3 設備システムの高効率化</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 LED照明、制御方式の工夫、潜熱回収型給湯器の採用	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化
小計	5.0	0.18				
<b>1.4 設備システムの効率的運用</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.00	LR1	エネルギー	4	効率的運用
	3.0	0.00	LR1	エネルギー	4	効率的運用
					4.1	モニタリング
					4.2	運用管理体制
小計	0.0	0.00				
<b>1.5 資源・マテリアル対策</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 節水型器具の採用 リサイクル材の採用 部材の再生可能な取り組み	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.12	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.00	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	4.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	4.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	4.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
小計	3.5	0.26				
<b>1.6 ライフサイクルCO2排出率</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 一般的な建物と同等	3.4	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮
小計	3.4	0.11				
<b>1. 「地球温暖化対策」の推進の評価</b>						
	<b>3.2</b>	<b>0.72</b>				
<b>■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進</b>						
<b>2.1 温熱環境の向上</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出
	2.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮
	2.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
					2.2	温熱環境悪化の改善
小計	1.5	0.96				
<b>2.2 交通負荷抑制</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 自転車置場、駐車場の確保	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
					2.3	地域インフラへの負荷抑制
					3	交通負荷抑制
小計	3.0	0.04				
<b>2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価</b>						
	<b>1.6</b>	<b>0.15</b>				
<b>■ 3. 「長寿命化対策」の推進</b>						
<b>3.1 耐用性の向上</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 外壁を陶磁器タイルを採用 給排水配管材のB以上を採用	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	4.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	2.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
小計	3.1	0.47				
<b>3.2 設備の更新性</b>						
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。	0.0	0.00	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.13	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.13	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.27	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.27	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
小計	3.0	0.53				
<b>3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)</b>						
	<b>3.1</b>	<b>0.13</b>				
<b>■ 重点項目の総平均(上記3項目)</b>						
	<b>2.9</b>					